

このたびは、リョービ自動カンナをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ・ 転倒事故を防止する為、機械周辺の床には物を置かないでください。
 - ・ 機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにしてください。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
3. 電気工事は自分で行なわないでください。
 - ・ 電源の誤配線による重傷事故を避ける為に、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行なってください。
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 無理に使用せず作業に合った機械を使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。

△ 警告

- ・手袋は刃物の交換の際に使用する以外は回転部に巻込まれる恐れがありますので絶対に使用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
7. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
 8. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 10. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
 - ・機械の可動部分との接触による重傷事故を避ける為に、部品交換の際には機械のスイッチを切り電源プラグを外してください。
 11. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または保守、点検、修理をする場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・清掃する場合。
 - ・機械の故障、異常に対処する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
 12. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
 13. 不意な始動は避けてください。
 - ・プラグを電源に接続する前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。
 14. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
 15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーや回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどの部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は、使用しないでください。

16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
17. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

自動カナご使用に際して

先に機械としての共通の警告・注意事項を述べましたが、自動カナをご使用の際には、さらにつきに述べる警告・注意事項を守ってください。

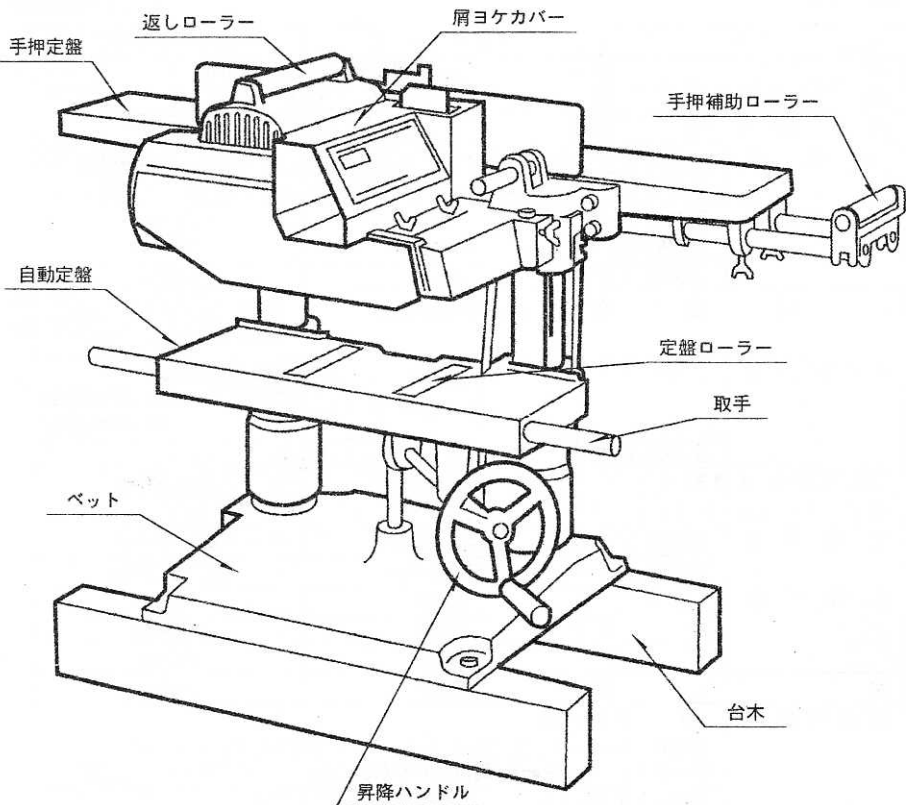
△ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因となります。
2. 運転中はカナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 切屑排出口には絶対指などを入れないう注意してください。
 - ・カナ刃が高速回転していますので危険です。
4. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
5. 材料が長い場合は、手押補助ローラーを使用してください。
 - ・使用しないと本体が不安定になりけがの原因となります。

△ 注意

1. 刃物類（カナ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
2. 使用中は軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業前に、カナ刃を空転させ、機体の振動やカナ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
4. カナ刃の取付け取外しなどカナ刃の取扱い時には手を切る恐れがありますので刃先に十分注意してください。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・異物があればカナ刃が破損することがあります。

■各部の名称



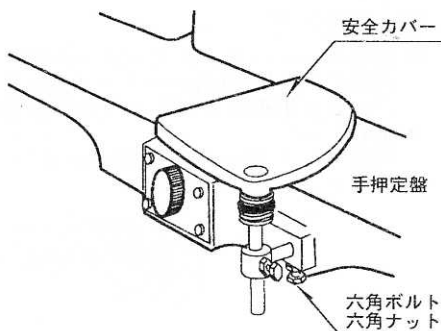
■用途

- 木材の平削り、直角出し。

■手押の安全カバーについて

- 手押の安全カバーは事故防止のため取外したりしないで、必ず本体に取付けた状態でご使用ください。安全カバーは常にスムーズに作動する様に保ち、変形したり、カンナ刃に接触しない様にご使用ください。

{ 労働安全衛生の構造規格第2章を参
照願います }



■仕様

モデル		AH-50NC	AH-85NC
電源		単相100V 50/60Hz	
電流		15A	
消費電力		1450W	
回転数	自動カンナ	(no) 9,000min. ⁻¹ (9,000回/分)	(no) 7,000min. ⁻¹ (7,000回/分)
	手押カンナ	(no) 10,000min. ⁻¹ (10,000回/分)	(no) 9,000min. ⁻¹ (9,000回/分)
最大切削幅	自動カンナ (往復切削)	156mm (312mm)	248mm (496mm)
	手押カンナ	160mm	160mm
送材速度		15cm/s(9m/min.)	高速 15cm/s(9m/min.) 低速 10cm/s(6m/min.)
最大切込深さ	自動カンナ	4mm	(送材速度10cm/s)3mm (送材速度15cm/s)3mm (180mm切削幅) 2mm (248mm切削幅)
	手押カンナ	4.5mm	
切削材厚さ (自動カンナ)		3~160mm	3~260mm
相ジャクリ深さ(手押カンナ)		9mm	
定盤寸法	自動カンナ	160×450mm	250×600mm
	手押カンナ	160×900mm	160×1,200mm
機体寸法	幅	663mm	805mm
	長さ	935mm	1,200mm
	高さ	697mm	910mm
重量		80kg	120kg
通常付属品	(AH-50NC) 刃先セットゲージ、刃先調節定規、カッタ手研保持器、ストップ ボックススパナ(9mm)、両口スパナ(10×13mm)、(+)ドライバ、工具箱		
	(AH-85NC) 刃先セットゲージ、カッタ手研保持器、ストップ ボックススパナ(13mm)、ボックススパナ(9mm)、 両口スパナ(10×13mm)、(+)ドライバ、刃先調節定規、工具箱		

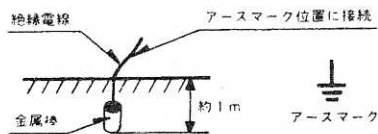
■別販売品

- 補助ローラーセット (AH-85NC)
自動カンナ用補助ローラーを取付けますと、より正確にまた楽に作業が出来ます。
- 砥石
自動カンナ用手研保持器でのカンナ刃の研磨にご利用ください。

■操作方法

●アースについて

- 本機を使用する時は、感電事故を防止する為必ずベースのアースマーク位置に1.6mm以上の絶縁電線（直径15mm以上の金属棒付）をビスで固定した後、金属棒を接地してください。

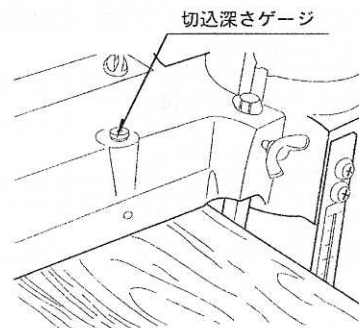


■自動カンナ

●切込深さ調節

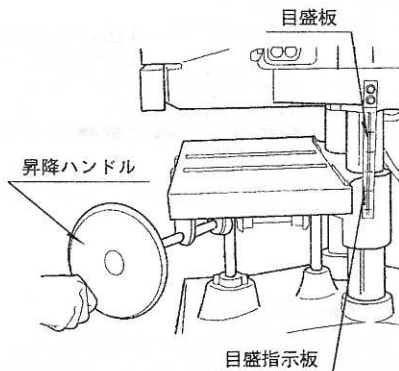
(AH-50NC)

- 加工仕上げ寸法の調節は昇降ハンドルを回して目盛板上の目盛に仕上げ寸法を合わせます。
昇降ハンドル1回転で2.5mm昇降します。
送材すると材料の上面が切込深さゲージに当たり、切込深さ分だけ切込深さゲージが上昇し、0～4mmまでの切込深さ調整が出来ます。



(AH-85NC)

- 加工仕上げ寸法の調節は昇降ハンドルを回して目盛板上の目盛に仕上げ寸法を合わせます。
昇降ハンドル1回転で1.6mm昇降します。
切込深さは最大切込深さを下記表に示しておりますので切削幅および送材速度により決めてください。



最大切込深さ	送材速度10cm/s	3mm (248mm切削幅時)
	送材速度15cm/s	3mm (180mm切削幅時)
		2mm (248mm切削幅時)

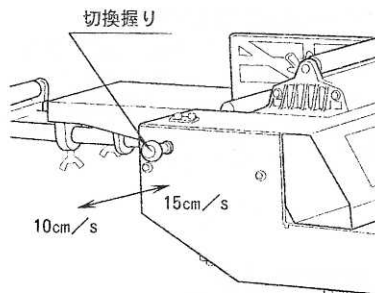
●送材速度

(AH-85NC)

- 本機は送材速度が10cm/s、15cm/sの2速切換方式ですので切削材の硬、軟や加工仕上げ状態、切削幅や切込深さに応じて適宜切換えてご利用ください。

送材速度の切換えはスイッチを入れて回転させながら、送材する前に行ないます。切換握りを手前に引くと10cm/s、押すと15cm/sです。

(注) 切換えは完全にそれぞれの切換位置にセットしてください。



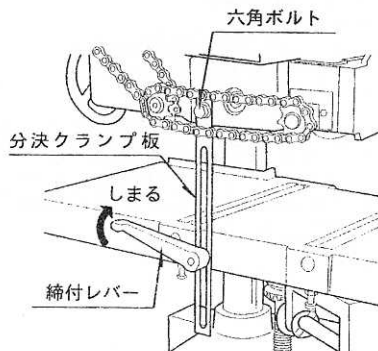
●分決めクランプ板 (別販売品)

(AH-85NC)

- 同寸法の木材を多数切削する場合は分決めクランプ板を締付レバーで固定してご利用ください。幅広材でも狂いのない定寸加工が出来ます。

取付方法はチェンカバーを取外した後、分決めクランプ板と締付レバーを取付けます。

(注) 取付後は必ずチェンカバーをセットしてください。

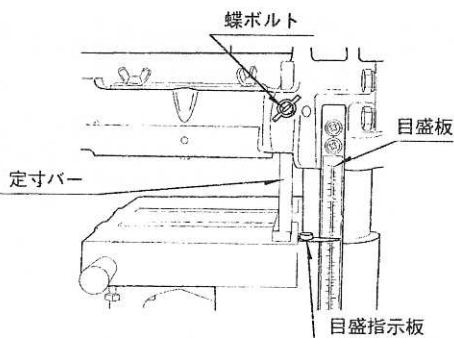


●定寸バーの利用方法

(AH-50NC)

- 二寸までの木材を同一寸法に多数切削する場合には、定寸バーを仕上寸法にセットし蝶ボルトで固定する事によって、同一寸法に分決めが出来ます。

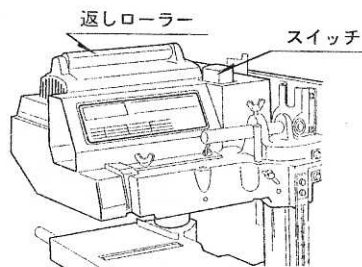
定寸バーを利用する時に昇降ハンドルの操作はソフトに行なってください。昇降が早いと定寸バーが動き、仕上寸法が狂う場合があります。



●送材および返送

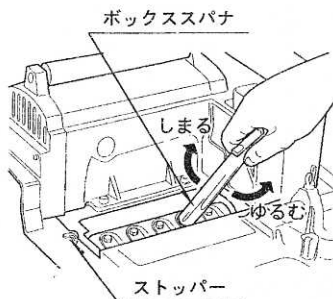
- 切削材は定盤面に沿わせて挿入し、浮かないようにしてください。切込量が多すぎて送材不能になったとき、そのまま放置しますと送りローラーが摩耗してしまいますので速やかに昇降ハンドルで切込量を減らしてください。

反復切削する場合は返しローラーで切削材を送り返しますと楽に作業ができます。



●カンナ刃の取外し

- カンナ刃の取外しは、屑ハケカバーの蝶ボルトを外し、ローラーケースの上部にあいているストップ穴にストップをさし込みカッタブロックを固定し、付属品のボックススパナでカッタ締付ボルトをゆるめ、カッタ押え板とカンナ刃を取外します。



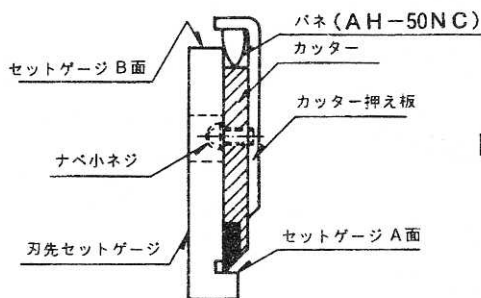
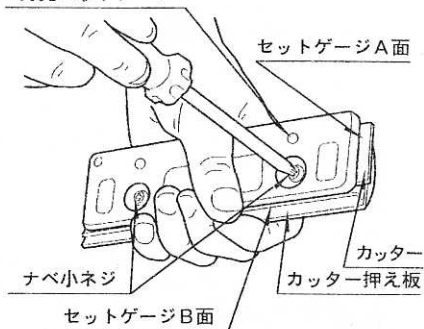
●カンナ刃の刃先調節

- カンナ刃とカッタ押え板をセットにし、ナベ小ネジを軽く締めます。(この時にAH-50NCは、カッタ押え板のパネをカンナ刃の背に当ててください。)

次に刃先セットゲージA面に刃先を、B面にカッタ押え板の凸部を合わせる様にスライドさせた後、ナベ小ネジでカンナ刃とカッタ押え板を固定してください。

- (注) ナベ小ネジを締付けた時、刃先がセットゲージA面に又、カッタ押え板の凸部がセットゲージのB面に密着している事を確認してください。

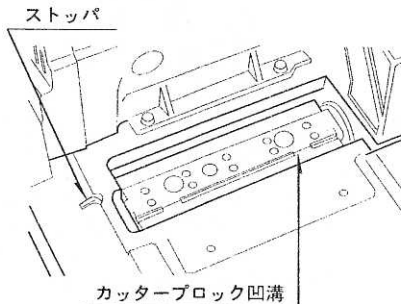
刃先セットゲージ



●カンナ刃の取付け

- 刃先調節の出来たカンナ刃は、カッタブロック凹溝にカッタ押え板の凸部を合わせてカッタ締付ボルトでしっかりと締付けて固定してください。

固定した後ストップ穴からストップを取外し、屑ハケカバーを取付けてください。ストップをした状態でスイッチを入れますと機械を痛めますので必ず取外した事を確認してください。



● 定盤ローラーの調節

● 締付ナットをわずかにゆるめ、調節ネジを回してローラーを定盤面より0.1～0.2mm（ハガキ1枚の厚さ）高くしてください。調節後は締付ナットをしっかりと締付けてください。

2個のローラー高さが不揃いだと切削材の厚さが不同になったり、ローラーが高く出すぎますと切削面に段がついたりしますのでご注意ください。

● 幅広木材の加工

● 1回の最大切削幅は156mmですが往復で312mmまで切削出来ます。

（AH-85NCは最大496mm）

幅広木材を加工する場合にはカンナ刃の屑ハケ口側をグラインダ等で丸く落しまずと最初に削った面と次に削る面との合わせ部がなめらかに仕上がります。

■ 手押カンナ

● 切込深さ調節

● 前定盤下側の丸ハンドルにて調節します。丸ハンドルを回すことにより切込深さは0～4.5mmまで自由に調節できます。

● 定規の調節

● 定規は定盤に対して直角にセットして出荷しておりますが、作業前には万一のため角度をお確かめください。

定規の傾斜調節は2ヶ所の六角ボルトをゆるめて、お望みの角度に定規を調節後、六角ボルトを締付けます。

定規の位置調節は2ヶ所の蝶ボルトをゆるめて、お望みの位置に定規を調節後、蝶ボルトを締付けます。

● カンナ刃の取換え

△ 警告

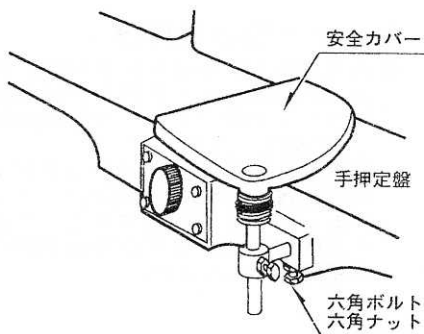
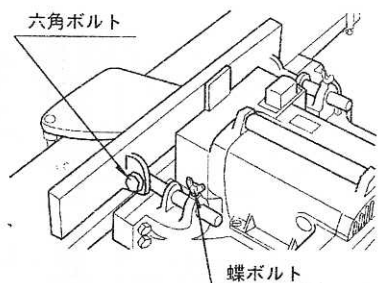
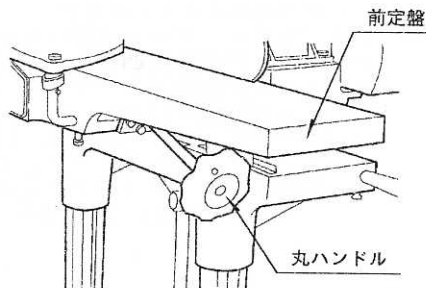
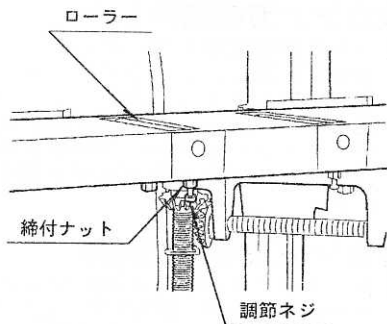
カンナ刃取付け、取外しの前に必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

△ 注意

カンナ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。

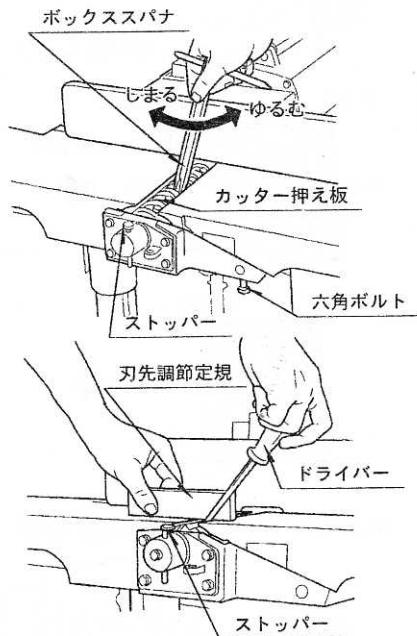
● 手押定盤側の六角ナット、六角ボルトをゆるめ、手前に抜いて安全カバーを取外します。

（注）安全カバーを上方に外しますと、安全カバーと定盤の高さが変わりやすくなります。安全カバーと定盤の間に指などが入らないようにしてください。



●カンナ刃の取外し

- カッタの取付ボルトを上向きにしてストップ穴にストップをさし込みカッタブロックを固定します。付属品のボックススパナでカッタ締付ボルトをゆるめ、カッタ押え板とカンナ刃を取外します。取付けは取外しの逆の要領で行なってください。



●カンナ刃の刃先調節

- カッタ取付ボルトを少しゆるめた状態でカンナ刃の刃先を上向きにしてストップ穴にストップをさし込みカッタブロックを固定します。次に刃先調節定規を後定盤端よりカンナ刃の刃先に当てがって後定盤とカンナ刃の刃先が同じ高さになるように(+)ドライバーで刃先調節ネジを調節後、もう一方の後定盤端に刃先調節定規を当てがって同じ要領で調節を行ないカッタ取付ボルトをしっかりと締付けてください。

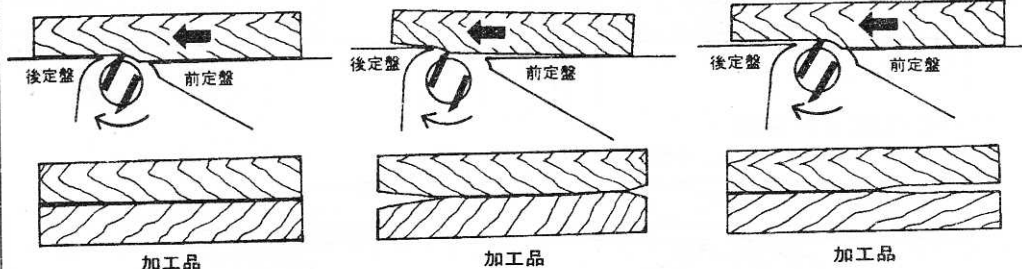
●刃先高と後定盤の関係

- 加工品は2つの木を削り合わせたものです。

●正しい場合

●後定盤よりカンナ刃が低い場合

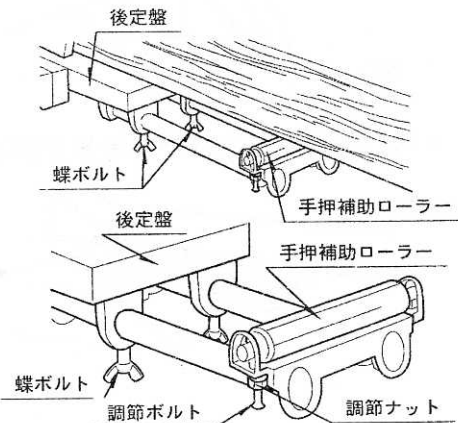
●後定盤よりカンナ刃が高い場合



●手押補助ローラーの取扱い

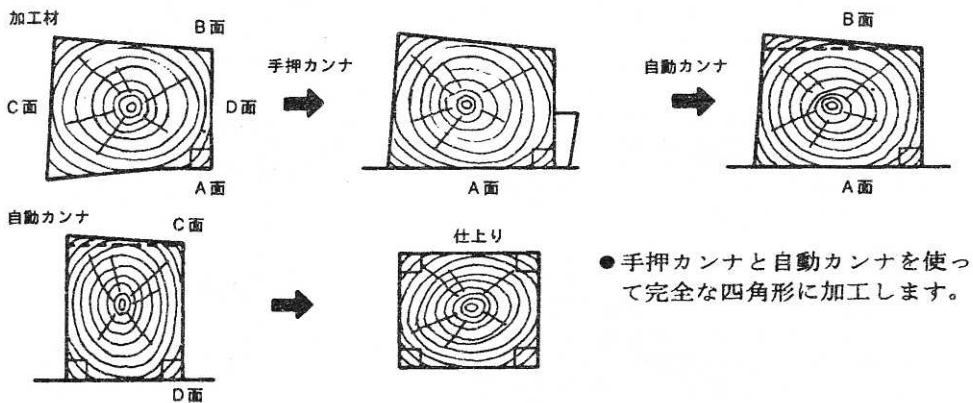
- 長尺物の木材を切削する時には、後定盤下側端の左右2ヶの蝶ボルトをゆるめて補助ローラーを引出し、蝶ボルトで固定してご使用ください。ローラーの高さ調節は、蝶ボルトで補助ローラーを固定した後、調節ナットをゆるめ調節ボルトで後定盤面と同じ高さになる様に、調節してください。調節後は必ず調節ナットを締付けてください。

(注) 収納する場合は蝶ボルトをゆるめて後定盤の下側に納め蝶ボルトで固定してください。本体を移動する時には、必ず収納してください。

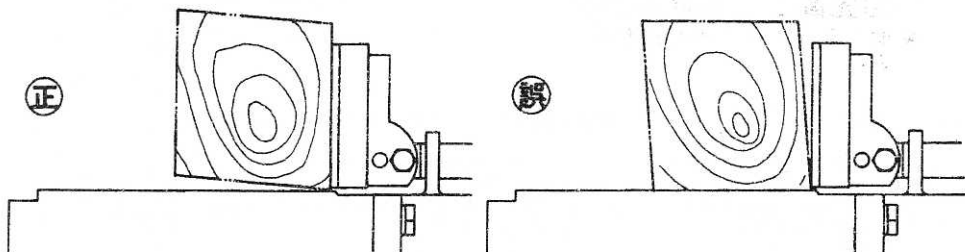


■直角出し・分決め

(直角削り、反った材木を手押カンナで切削し自動カンナで仕上げます。)

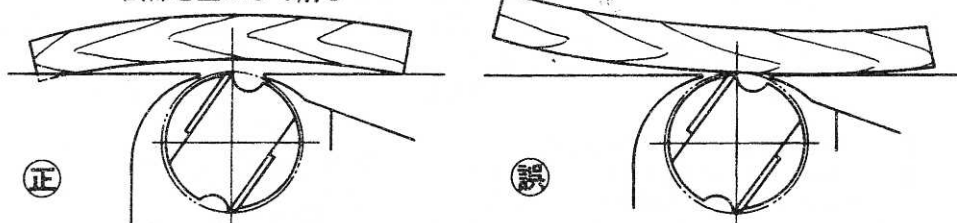


●正しい削り方と悪い削り方

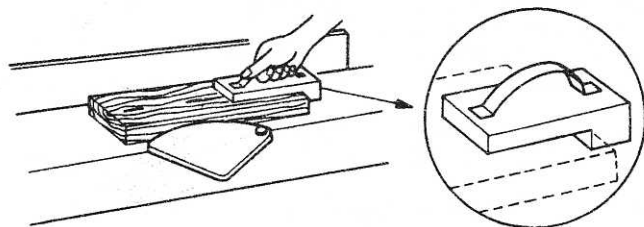


●弓形に反った材料

凸部を上にして削る



●薄い材料削りは板押し治具を作成して行なうと安全に作業出来ます。



■保守と点検

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。
けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

●カンナ刃について

- 切れ味の悪くなったカンナ刃をそのままご使用になりますとモーター、その他に無理がかかり、作業能率も悪くなりますので早めに交換してください。カンナ刃を交換する場合は2枚(3枚)1組単位で交換してください。何度も研磨したカンナ刃と新品のカンナ刃を1組にして使用しますとバランスが悪くなり、振動が出たり、機械の寿命を低下させます。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社